

日本共産党後援会ニュース

井田かよ子後援会 2020年11月 (部内資料)
味方町畦田30番地
F A X 43-3255 携帯090-5012-9039 No.13



9月議会

市民に寄り添う市議会が必要だ

行政にPCR検査の実施を求める

あやべPCR検査を求める会から出された請願の採択を求め、賛成討論を行いました。

今回提出された請願は、医療・介護・福祉・保育・学校・消防等、リスクの高い職場勤務されている方々が不安を抱えておられるこ

とに対し、行政にPCR検査を実施すること

を求めると

共産党議員団は、この間市内事業所や飲食店、医療・介護施設等訪問し、新型コロナウィ

ルスの影響調査を行いました。特に医療・介護現場から「自分が感染し、職場内でクラスターを発生させることにならないか。そのことによりバッシングを受け



ないか。」という声をお聞きしています。

感染防止と自己管理をしてもなお不安な実態があり

ます。希望しても検査が必要と判断されなければPCR検査を受けられません。

感染拡大の抑止は、感染力がある無症状者を見つけ出し、いかに保護隔離するかです。今後、インフルエンザの同時流行も危惧されます。

結果は、共産党以外の反対で不採択となりました。



度の選挙 今総選

野党連合政権を目指す日本共産党
コロナ・暮らし・経営・疑惑解明も解決への道

新首相の初仕事は？

「疑惑はなかったことに…」

9月16日菅内閣が発足しました。的外れなコロナ対策で国民の命とくらしを危機にさらした「安倍政権の取り組みを継承」する方針です。世論調査では「アベノミクス」の見直しや、「憲法改正」は「引き継ぐ必要ない」が多数となっています

います。モリ・カケ問題や桜を見る会での政治の私物化や疑惑は、安倍首相の退陣で幕引きにすることは許されません。河井夫妻の選挙買収事件の解明も必要です。菅首相に対して、政治不信を招いた疑惑の徹底解明を求めます。市民と野党の共闘で、命くらしを守る当たり前の政治を実現しましょう。

未来社会をめざす党

新型コロナウイルス・パンデミック(世界的流行・多くの人が感染している状態)は、貧富の格差拡大、地球的規模での環境破壊といふ、資本主義の存続が問われる大問題を明るみに出しています。学者・識者のなかでも「コロナ禍のもとで、誰もが資本主義は限界だと感じていくのではないでしようか」(山極寿一京大総長)「しんぶん赤旗」6月4



8月新型コロナウイルス第4次申入れ

日付)の声があります。資本主義をのりこえ、すべての人間の自由で全面的な発展を可能にする未来社会をめざす日本共産党が注目されています。

次の総選挙で政権交代を実現し連合政権をつくる

京都北部に光を当てる政治を実現したい



5区小選挙区予定候補・山内 健

山内 健 私の覚悟

日本共産党は次の総選挙で政権交代を実現し、共産党も含む野党連合政権を樹立する目標を決めました。私は候補者としてその覚悟をもってたたかうと決意しています。

菅首相は安倍政治を継承発展させること大看板にしていますが、暮らしや営業

安心・安全がおびやかされ地域の疲弊がいつそうすんだ京都北部にとっては、安倍政治を転換し新しい政治を起こすことこそ求められています。

基幹産業である農業・林業・漁業では暮らしが成り立たず、若い世代が居なくなり、自治会や消防団の担い手さえ確保できません。アベノミクスの恩恵どころか、人口減少に拍車がかかり地域存続の危機が広がりました。

私は、こうした今の政治に代わる新しい政権で京都北部に光を当てる政治を

現したい。

高浜・大飯原発から舞鶴綾部など近いところは数キロ、北部全体が60キロ圏に含まれます。原発事故が起こったとき「どこへ、どうやって避難したらいいのか」「せめて希望する子どもたちに安定ヨウ素材を事前に配布してほしい」と若いパパ・ママたちの運動が力になって、新しい共同も始まっています。

京都北部こそ、安倍政治と正面から対決してきた日本共産党の出番の情勢です。新型コロナウイルス感染危機の拡大はこれまでの社

会のあり方を問うものとなっています。

保守的な立場の人も含め市民と野党の共同を広げる条件が広がっています。「生まれた街で住み続けたい」「安全に、安心して暮らしたい」の思いでがんばっている人たちと力をあわせ「共闘」を広げ、新しい政治を起こす先頭にたつてがんばります。



フレッシュバザール綾部御幸通り店前 10月14日
近畿ブロック比例代表予定候補 **たけやま彩子**
京都北部の生の声を国会へ届ける5区小選挙区予定候補・**山内 健**の街頭からの訴え（司会は井田かよ子議員）

共産党・全国の街々から支援の輪

2020年豪雨災害に募金を呼びかけました

井田議員の呼びかけに応える皆さん。共産党は全国で募金活動をして災害地へ党が直接届けています。



下は旧市民センターの跡地。建物がなくなると広く感じます跡地利用へ皆さんのご意見、お聞かせ下さい。



和木町へ 橋のタモトの案内人

差す指の先には
隋岸寺と日吉神社の看板がある



和木町に入るとすぐ目に入る大勢？の出迎え5年前に初めて訪れたときはこ

の賑わいはありませんでした。50人以上だったのが今は40人ほどになったと大家さんの話で次は桜の頃にとお誘いを頂きました。

この賑いを後に坂道を行くと



「綾部市の古木・名木百選樹木」スタジイの神木がある日吉神社に着く。幹周4・7米・樹高17米・樹齢推定4百年とありました。上野町・小林



樹齢400年のスタジイ